

委員所感

※五十音順 敬称略

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
1	相澤 新一郎	(提出なし)		
2	小田 修市	資源エネルギー庁	正しい電力情報・状況を周知する必要がある	今、稼働中の原子力発電所が定検に入った場合、その時、新たに再稼働する原発がないとすると国内の電力の状況はどのようなになりますか？ 計画停電等を実施するようなことが現実にかかる可能性はありますか？
3	小名 道幸	(提出なし)		
4	小野 敏夫	内閣府政策統括官、資源エネルギー庁政策統括調整官、新潟県知事、柏崎市長、刈羽村長、東京電力 HD(株)社長	① 気象災害(温暖化)対策と福島原発事故の賠償のために再稼働を早期に進めていただきたい。そのために各機関はどのよう進めてきたのか、説明をお願いしたい (内閣府政策統括官・資源エネルギー庁政策統括調整官・東京電力 HD(株)社長へ)  ② 「地域の会」の活動が20年ほど続いているが、そのために各機関が進歩・向上充実に寄与したのでしょうか。透明性と安全運転が確保されてきたのでしょうか？ (柏崎市長 刈羽村長へ)。	①地域の会の会員になって4ヶ月経過、主に東電の「核防備不備等」と「原子力防災」が主な議事内容と感じた。 「安全運転・透明性を確保」する会(地域の会)は大方「東電」や「関係機関」への批判と当局の釈明に始終しているように思えた。 ②最近の議事内容は「核防備不備や ID カード不正使用等」と「原子力防災対策」が主で、機関への批判となって建設的な意見は極端に少ないと思っている。 この会の目的が「事業者・関係機関の規制や取り組みの監視活動等の確認」「指摘・要望」「地域住民への情報提供」である性格上、批判が主にならざるを得ないが、そればかりだと空しく感じる会員もいることも知って欲しい。 ③私は地球環境、とりわけ温暖化の対策は地域を問わず急務だと思っている。気候災害は小さな田舎にも及んでいる。早めの再稼働を望む。

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
				東京電力 HD と関係機関は早期の信頼回復に努め、「世界に誇る原子力発電所」を構築して欲しい。今後は、改善措置報告書等にある通り、具体的に厳格に実行していただきたい。
5	神林 仁	資源エネルギー庁	カーボンニュートラル実現に向けた原子力発電利用について	<p>(質問)</p> <p>2050年カーボンニュートラルを実現させる目標を立てたことは大変意義のあることであり、環境問題に関心のある私自身としても素晴らしい目標だと思っております。そこに向けては、2030年46%削減するとした数字目標を掲げていますが、太陽光発電の比率を無理やり上げた帳尻合わせのようにも感じます。不安定な再エネではベース電源になりませんし、太陽光発電所に関しては、これ以上平地に設置する場所も少なく、山間地に設置された施設で土砂災害が起きるといった事例や、廃棄物の問題も想定されます。以上のことから、再エネだけでカーボンニュートラルの実現は厳しく、少なくとも安全基準をクリアした既存の原子力発電所を再稼働させ、大規模低炭素電源を利用することは必須と考えますが、国としてはどのような計画を検討されているのでしょうか。このような大きな目標を達成させるために、リプレイスや新增設せずに可能でしょうか。さらに、原子炉を利用していない期間、いわゆる原子力発電所停止期間を考慮した運転期間の延長の議論や、小型モジュール炉なども検討されているのでしょうか。</p> <p>震災から10年、原子力政策は停滞しており、カーボンニュートラルの実現に向けて政府が原子力発電の明確な位置付けを示すとともに、エネルギーのベストミックスをより緻密に検討して</p>

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
				<p>いく必要があると考えます。</p> <p>最後に、核燃料サイクル政策については、青森県の多大なる協力のもと進めているかと思いますが、今後凍結させるという選択肢はあるのでしょうか。その場合はどのような問題が発生するのでしょうか。また今後、政権交代や総裁が変わるたびにサイクル政策の在り方が議論になるような不安定なもので良いのか疑問に感じます。経済活動、我々の生活に直結するようなエネルギーの問題については、ブレずにしっかりと進めてもらいたいと考えております。</p>
6	坂本 啓	資源エネルギー庁、新潟県、柏崎市、刈羽村	①原子力発電やエネルギーに関する広報活動と原子力発電所立地地域住民としての責任について	<p>①原子力発電所立地地域で生活するなかで、住民の多くが原子力発電について、新聞やテレビといったメディアを通して自然と入ってくる情報のみで物事を判断し、賛成や反対といった考えを持っていることに疑問に思うところがあります。</p> <p>確かに、原子力が非常にリスクのあるエネルギーであることは知っています。一方で、立地自治体やそこに住む住民が、税金や交付金、雇用などの経済効果の恩恵を受けていることも事実です。</p> <p>私は、原子力発電に関して、一つの視点で物事を判断するのではなく、多角的に考え物事を判断する力をつけることが大切であり、それが、立地地域住民としての責任でもあると考えます。そのためにも、我々住民が学ぶ姿勢をもつべきことは言うまでもありませんが、メディアや事業者だけでなく、国や自治体がしっかりと、立地地域住民に対して、分かりやすく積極的に、原子力発電やエネルギーに関することについて情報発信すべ</p>

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
				きだと考えます。
7	三宮 徳保	1) 国に対して  2) 東京電力HDに対して		<p>①我が国におけるエネルギー供給実態と安定供給、地球温暖化対策を考えたときに、現状の日本に原子力発電は必要なのですか？</p> <p>国民、特に原発立地地域住民に対する丁寧な説明と理解活動に注力頂きたい。</p> <p>②柏崎刈羽地域には国策に協力し誘致した7基もの原子力発電所が存続しています。立地地域住民に対し、安定した経済基盤の確立と地域振興策への支援を頂きたい。</p> <p>上記内容を踏まえ、国の政策である第6次エネルギー基本計画に反映して頂きたい。</p> <p>①最終的に発電所の安全性向上が住民の安心に繋がるものだと考えます。新規規制基準に関する安全対策工事、今回発覚した一連の核防護事案に関わる改善処置に対し、事業主自らの徹底した総点検を行う事を要望します。日本のエネルギー供給を担う原子力発電所で働くという意義、プライドと誇りを持った行動を地域社会に対して示して頂きたい。</p>
8	品田 善司	・東京電力(株) ・柏崎市	1～5号機に対する廃炉計画のその後に変化はないのか	2017年、市長より1～5号機にかかる廃炉計画を示すよう要請したことに対し、2019年に東京電力から『6～7号機が再稼働した後5年以内に、1基以上について廃炉も想定したステップを踏んでいく』との基本的な考え方が示されました。

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
				<p>今、再稼働への道筋はさらに遠くなり、厳しい状況となっています。立地地域の地元民としては、これらを思うとき、虚しさと共に違和感も出て来ています。</p> <p>『再稼働した後5年以内』という考え方は変わらないのでしょうか。</p> <p>多額の費用が掛かることは承知していますが、再稼働との関係にとらわれず、廃炉計画を進めていただきたい。</p> <p>そして柏崎市の考え方は如何か。</p>
9	須田 年美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京電力</li> <li>・規制庁</li> </ul>	対テロ対策の不備について	<p>(東京電力へ)</p> <p>機能復帰に、18年度以降30日を超えるものが111件と非常に多いことは把握されていたのかどうか?この時点で異常であることに原子力事業者として気がつかなかったのか?</p> <p>この期間にも、構内見学の際は免許証の写しの提出や、発電所ゲートでのセキュリティチェックは一体何のためだったのか?原子力事業者としてのパフォーマンスだったのか?</p> <p>そして、こんな内部の不備があるにも関わらず各戸訪問を継続するなど自分達のやるべきことをはきちがえているように思うがいかがでしょうか?</p> <p>火災感知器の問題も同様ですが、今まで、原子力発電所は途轍もなく厳重に管理されている所と思っていた住民の心は完全に踏みにじられたように感じます。</p> <p>(規制庁へ)</p> <p>代替措置の報告はされていたが、特段の指摘はなかったとの</p>

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
		・柏崎市	避難計画について	<p>ことですが、原子力発電所にとって一番セキュリティがしっかりしているべき設備が代替措置で 30 日から長いものは 337 日と一年近く代替措置として監視カメラなどによる対応がされていたことに疑問はいただかなかったのか?他の原子力事業者より復旧時間が突出していることは承知していたにも関わらず、検査機関である規制庁が何故踏み込んでチェックしなかったのか?住民とすれば運営は、事業者に委ねるばかりで安全を保てるのか疑問であり、今後も大丈夫なのかとても心配である。</p> <p>(柏崎市へ)</p> <p>私の住んでいる地域は、原子力発電所より 20K 近くも離れており、原子力災害については意外と皆さん無関心であり、高齢者は「おら!逃げらんねえすけ家にいるこてえ…」若者は「災害を聞いたら屋内退避なんて冗談じゃねえー早く逃げるに決まっている」という声ばかりである。しかしながら、この地域は屋内退避後、順次避難するようになっているが住宅が屋内退避可能になっているとは言えない実情の中でどうするのか?出来る限りの安全はどうしたら守れるのか、もっと積極的に情報共有に努めないと、ただでも非常時の混乱はさけることは出来ませんが、原子力発電所の立地地域では定期的に全域の避難訓練も必要だと思いますがいかがでしょうか?</p> <p>避難訓練は大掛かりなものばかりではなく、地域住民の被災時の行動確認も一つの避難訓練と思っております。</p> <p>地域全体での避難訓練に際しては、柏崎を通行中の車等に</p>

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
				も協力いただくことも重要であり、これが災害時には多いに役立つものでもあり、今回柏崎・刈羽の UPZ 内での事前配布を決定したが、通行中の人たちはどうするのか等々も一緒に考えることができるのではないかと考えます。
10	高木 則昭	①資源エネルギー庁、東京電力 HD(株)	①地球温暖化と再生可能エネルギー、原子力発電について	<p>地域の会の委員に高浜地区3町内会より選出されています、椎谷町内会長の高木則昭です。委員も二期目になりました。ご存じのように、高浜地区は発電所の北側に隣接しており普段から原子力発電所の状況には関心が高い地区です。よろしくお願いします。</p> <p>最初に地球温暖化と再生可能エネルギー、原子力発電についてです</p> <p>地球温暖化による自然環境の変化で自然災害の激甚化や農作物、漁業への影響が大きくなり私たちの暮らしに影を落としています。対策としては皆さんもご存じの様にカーボンニュートラルなど温室効果ガス削減による環境保全です。温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの普及が進められています。</p> <p>しかし、多くの再生可能エネルギーは自然任せで供給量が不安定でベース電源には適していません。この問題を解決するにはエネルギーの備蓄、高効率大容量蓄電池システムの実用化です。これにはまだ時間が掛かると考えられます。地球温暖化は待ってくれません。苦渋の決断ですが、しばらくの間は原</p>

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
		②新潟県・柏崎市・刈羽村	②原子力災害広域避難計画	<p>子力発電に頼ると言う選択肢も必要と考えます。</p> <p>しかし、柏崎刈羽原子力発電所は問題が次から次へと発覚している現状で再稼働の未透視が立たない状態です。報道に有るように全てにおいて意識が甘いと感じられます。重要設備の機能不全長期化、設備設置時の管理体制の不備など多くの事例が有ります。今まで出来ていたではなく悪さ加減が表面に出てこなかっただけです。地域住民の安心、安全と地球温暖化防止のために、現在進められている検証をやり遂げ、原子力発電所運転者に値する企業になるようにお願いします。</p> <p>次に原子力災害広域避難計画についてのべます</p> <p>新潟県及び柏崎市、刈羽村の原子力災害広域避難計画見直し後の検証を地域の会定例会の議題に取り上げ議論を行ってきました。現時点では、大筋の避難計画は出来たが細部にわたる計画にはなっていない、最悪の事態を想定していないのではないかと感じられます。これから、訓練を繰り返し検証を重ねていきより良い避難計画に作り上げていくと言う姿勢に感じられました。</p> <p>我々地域住民は切実な問題ととらえ、避難訓練に参加して感想、意見を述べてきました。新潟県はじめ柏崎市、刈羽村においてはただ計画を作るのではなく、いつまでに地域住民が納得する、運用可能な避難計画を作り上げるのか見えてきませ</p>



	委員名	相手先	所感タイトル	概要
				<p>ん。これでは、地域住民は納得しません。時間軸の作成計画を作り、計画通り避難計画の完成をお願いします。</p> <p>柏崎刈羽原子力発電所再稼働の議論は、東京電力ホールディングスが安全に運転できる企業になり、原子力災害広域避難計画が有効なものになった時、始まるものと考えています。関係各機関には一層の努力をお願いします。</p>
11	高橋 新一	東京電力 HD(株)	8月8日 避難計画に対する東京電力に再質問	<p><b>【前回質問の主旨・・・】</b></p> <p>8月4日定例会で東京電力(以下東電)の「避難計画に関するご質問へのご回答」について、あらためて質問いたします。</p> <p>7月7日定例会で「東電は実効性のある策定を待たずに取り敢えず再稼働ありき」なのかという質問をしました。</p> <p>私の質問の本意は「東電は当初本年3月に7号機の燃料装荷、6月には再稼働をさせる予定だったと聞かすが、その後IDカード不正使用、工事未完了、核防護の問題などが発覚、規制委員会から核燃料の移動禁止命令が出され事実上再稼働できない現状となっている。仮にこのような問題が判明していなかったとしても東電は、7号機の再稼働をさせていたのか・・・という趣旨の質問だった。</p> <p>その理由としては、各委員の質問に対して内閣府、県、市、村の回答は、充実強化に取り組む、課題の解決に取り組む、実効性を高めていく、広域避難計画には到達点というものはない、冬期間の避難道路の確保が課題、実効性を高める努力をしていく。</p> <p>などなど、どの回答も「求めていく、高めていく、取り組んでい</p>

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
				<p>く、積み重ねていく、努力する」などなどで実効性のある避難計画策定への途上であり、実効性のある策定には、ほど遠いというよりも「実現不可能」といってもよい回答だけでした。</p> <p><b>【東電の回答の要旨】</b></p> <p>前回の東電の回答の要旨は、事業者としての責務を確実に果たしていく、県との協力体制改善を行っていく、今回の事案（諸問題）に対して根本的な解明、改善に取り組んでいく、一つひとつ実績を積み重ねていく、発電所の安全性や品質改善に実績を高めていく・・・などなどで最後に皆様の信頼が得られるよう取り組んで参ります。</p> <p>というものであり、私の質問には、まったく答えていない。</p> <p>同じ質問を規制庁にもしたが、規制委員会は（国は）そもそも規制審査を第4層までとして5層の避難計画は、自治体に丸投げしている。これは、避難計画策定は無理、そこまでやると原発そのものを否定することになることを知っての「逃げ」であることは、明白であり市民にそのことを知らせることが私の目的でした。</p> <p><b>【まとめ】</b></p> <p>今、東電は、原発を動かす資格、資質があるのかが問われている。また、福島事故の反省があるのか、再稼働したいなど言っている立場なのか、なぜ避難しなければならないのか、ヨウ素剤の配布は被ばくすることを想定しているのではないかと、など県民、市民の信頼は最低の状況といえます。</p> <p>最後に東電は、①規制委員会の（第4層まで）審査が終了し</p>

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
				「合格のお墨付き」がついた時点で再稼働を行うのか。②実効性のある避難の目途がつくまで再稼働は行わないのか 今回は、①、②のいずれかを明確に答えていただきたい。
12	竹内 英子	内閣府、新潟県、柏崎市、刈羽村	「避難の支援を行う人も 1 人の住民であり、守るべき家族がいる生活者である」という視点の欠如について	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PAZ への避難指示後、UPZ への一時移転指示後も業務にあたり続けなければならない立場にある人はどのくらいの人数になるのか</li> <li>●避難計画を実行する際に業務に縛られる方などの人数を考えると、家族が迎えに行くということは現実的ではない</li> <li>●介護や福祉の通所施設や学校、保育園・幼稚園、児童クラブなどで家族への引き渡しができなかった場合の対応を詰めていくと、ますます避難計画を実行する際に業務に縛られる人が増えていくことになる。</li> <li>●「<u>避難の支援などを行う人</u>※も 1 人の住民であり、守るべき家族がいる生活者である」という視点から、避難計画を再度検討する必要があると考える</li> </ul> <p>※ 警察・消防・行政機関などだけでなく、病院や福祉施設、学校、交通を含んだインフラやライフラインを守る関係者、事故を収束させる責務を負う東京電力の職員も含まれます</p>
13	本間 保	桜井市長 と 花角知事	その時あなたはなんと答えますか	<p>原発は事故など起こさない。 未来のエネルギーで、地域の明るい未来を開く そういわれて柏崎に原発が誘致されて半世紀が経過しました。 半世紀を経て、柏崎が大きく発展し、素敵な街になったでしょう うか。 原発推進の先頭で頑張っておられた、桜井市長は、福島事故</p>

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
		花角知事	県の検証委員会について	<p>を目の当たりにして、当時心が揺れたように私には見えましたが、私の錯覚だったようです。</p> <p>花角知事は、明確に原発の再稼働は県民の意見を問いますとして当選しましたが、あの公約は何だったのでしょうか？ 私としては、この人は県民との約束をどう考えているのだろうかという思いを強くしております。</p> <p>そこで、お二人にお尋ねします。</p> <p>柏崎刈羽原発を再稼働すれば、福島のような事故が起きる可能性は否定できません。</p> <p>もしも、そうなってしまったら、柏崎は放射性物質に汚染され、私たちは長期にわたって故郷に戻れなくなってしまいます。</p> <p>それは決してあり得ない事ではありません。</p> <p>お二人が再稼働に同意し、柏崎刈羽原発が再稼働され、そして、事故が起きたら</p> <p>その時、お二人は、市民、県民にどのような言葉をかけられますか？</p> <p>仮定の質問には答えられないなどとおっしゃらず、想像してみてください、お答え下さい。</p> <p>1 委員長との意見不特定で総括委員会を開催しない件について</p> <p>2 検証委員会が求めている県民との意見交換会について</p>

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
14	三井田 潤	東京電力ホールディングス株式会社	ユーティリティの重要性に留意して下さい	原子力発電所の運営にはユーティリティが重要です。 今一度再認識してほしいと思います。
15	三井田 達毅	①内閣府 ②原子力規制庁 ③資源エネルギー庁	自然エネルギーと原子力発電についての現実と今後の展望について	<p><b>【内閣府、規制庁、エネ庁共通質問】</b></p> <p>○柏崎市松波地域にメガソーラー施設を建設予定の件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第6エネ基でも危惧している通り、メガソーラー施設の発電後の廃棄等、トラブルが多い現状で外国系の企業に規制・指導・強制が出来るのか？</li> <li>2. そもそもメガソーラー施設自体の環境破壊が問題視されている事についての見解は？</li> <li>3. 原子力発電所の近隣距離に外国企業の施設が出来る事はセキュリティ面で大きな問題ではないのか？</li> </ol> <p><b>【エネ庁】</b></p> <p>○エネルギー基本計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然エネルギー普及は大いに賛成だが、環境破壊の側面、蓄電技術の革新なくして安定供給見込めない中、現状どういった発電でLCA等の脱炭素を成し遂げるのか？</li> <li>2. 原子力発電を低減と言いながらも主要電源としての期待もある様ですが、新設・リプレースも言及しないで信頼性向上などという中途半端さで原子力発電を主要電源として期待できる発電量が得られるのか？</li> </ol> <p><b>【規制庁】</b></p> <p>東京電力の核物質防護関連の問題は、そもそも入構の審査</p>

	委員名	相手先	所感タイトル	概要
				<p>や警護の問題を考えれば、事業者管理を規制庁が良否判定というより、規制当局である規制庁主導によって各電力会社のセキュリティを確保するべきだと思います。（業者選定や論理飛躍かもしれませんが警察・自衛隊の常駐など・・・）今後そういった考えはありませんか？もしくは現在においても規制委員会等でそういった話はないのでしょうか？</p>
16	宮崎 孝司	内閣府 と 新潟県	新潟県原子力災害広域避難計画は完成しているか？	<p>内閣府へ</p> <p>○新潟県の避難検証委員会は、コロナ感染拡大下での避難は困難としている。県は、広域避難計画について、「完璧なものはない」と言っている。県民は原発稼働に不安を持つのは当然。国は、指針は作った、後は地元の計画を支援するというが、県の検証委員会のように広域避難計画の適正を第三者委員会で審査すべきだ。国は県原子力災害広域避難計画は完成しているとみているのか。</p> <p>新潟県へ</p> <p>○県は、広域避難計画について、「完璧なものはない」と言っているが、計画の完成度（進捗率）はどれくらいと考えているか。また、県は11月に避難訓練を行い、「対応力」を高めるとしているが、今年の「避難訓練」によって計画（＝100%）に対し、対応力を何%に高めるのか。</p> <p>いつまでに、対応力ほぼ 100%となる広域避難計画を作るつもりか。</p>